

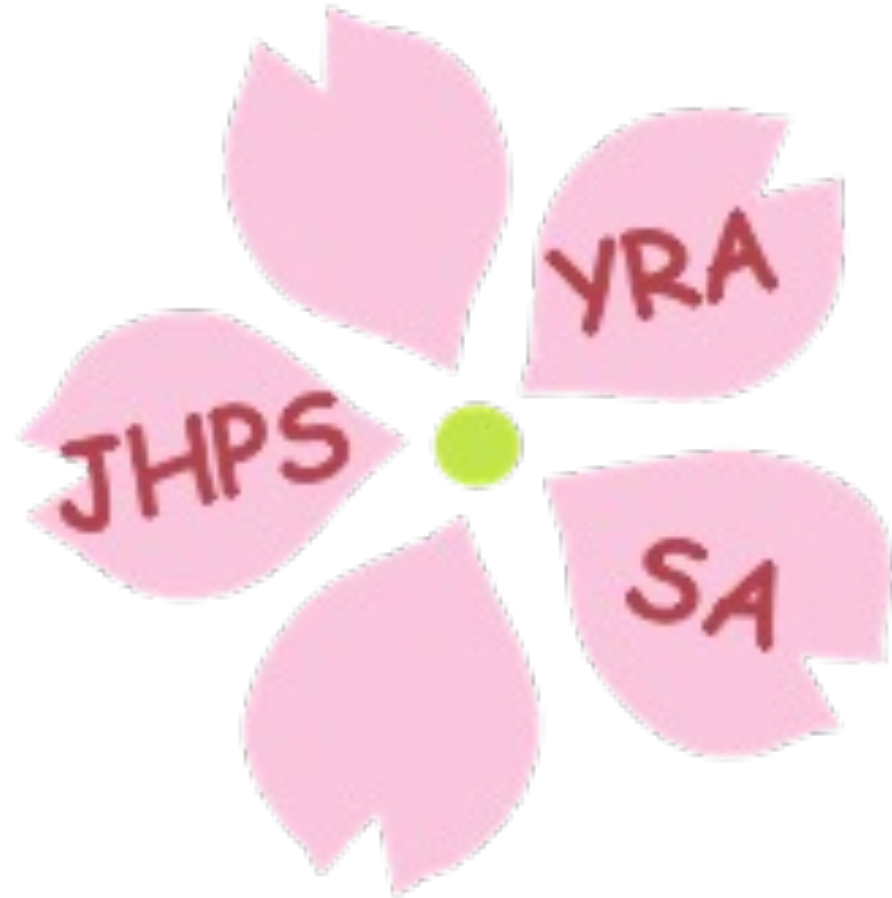
若手が関心を持つ 放射線防護テーマ とは

-アンケート結果-

廣田誠子

(広大原医研、保健物理学会若手研)

@2022年度6月企画シンポジウム 若手研セッション



若手向けアンケート実施に至る経緯

ICRPの次期主勧告への議論に若手も参加できるように、現状の課題を知り、整理したい。

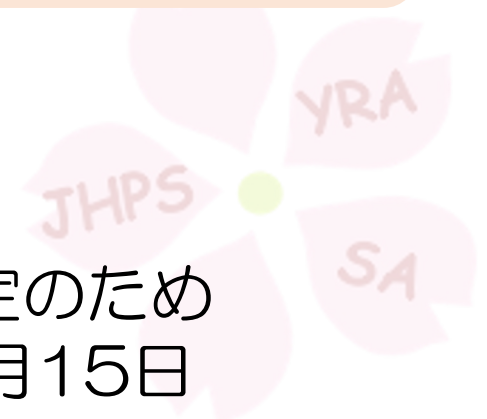
ICRP2023は何と東京と開催される！
議論を行う良いチャンス？

だが、課題は多岐にわたる。どんなテーマから始めよう？

→というわけで、アンケートを実施。

実施目的：2022年度に学ぶテーマの選定のため

実施期間：2022年4月6日～2022年4月15日



アンケート内容

- 所属機関
- 専門分野
- 身分
- 関心のあるテーマ(3つ)
- 次期主勧告に関心はあるか？
- 関心のあるテーマなら勉強会に参加したいか？
- 6月企画シンポジウムに参加予定か？
- ICRP2023に参加したいか？

「関心のあるテーマ(3つ)」の選択肢

- 防護システムの目的と現状
- 環境の防護
- ヒト以外の生物相の防護
- 防護の安全と最適化
- 被曝状況(計画、現存、緊急時の分けは適切か?)
- 被曝カテゴリー(職業被曝、医療被曝、公衆被曝以外の新たなカテゴリー追加の必要性?)
- 防護にまつわる倫理(防護の倫理的根拠、コミュニケーション、医療)
- コミュニケーション
- 教育・訓練
- 線量(新しい線量体系)
- 影響とリスク(低線量率、DDREF、デトリメント、不確かさなど)
- NORM
- その他

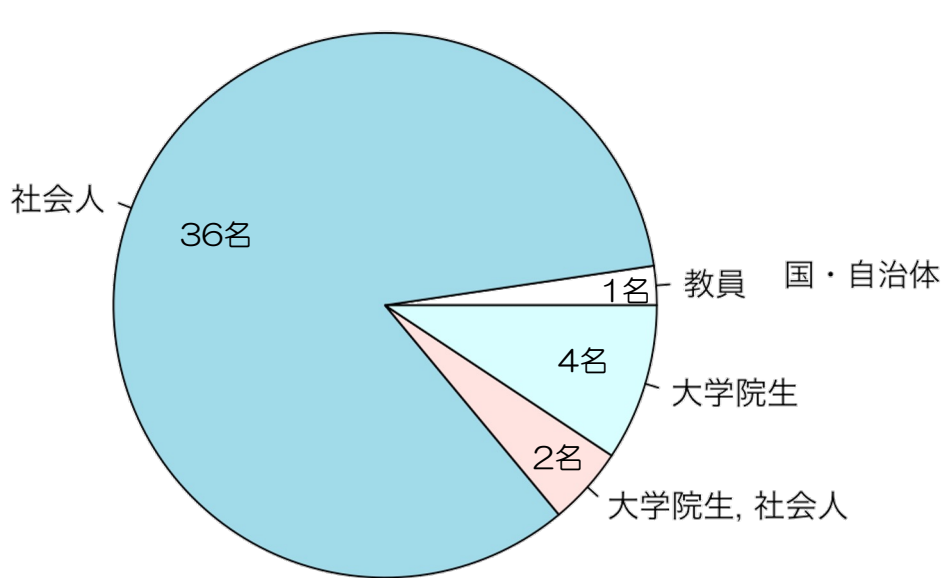
※昨年度の国際動向報告会での講演などを参考にして選択肢を設定

回答にご協力いただいた皆様、
ありがとうございました。

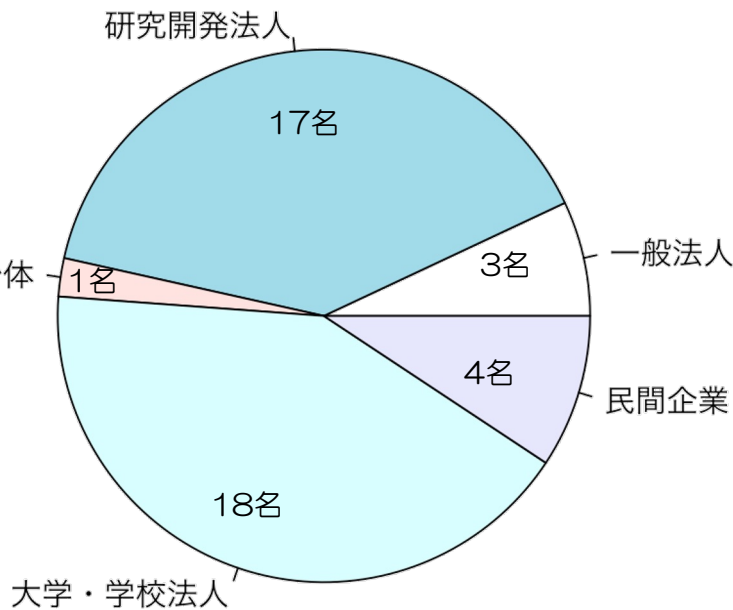


アンケート結果1

• 回答者：43名



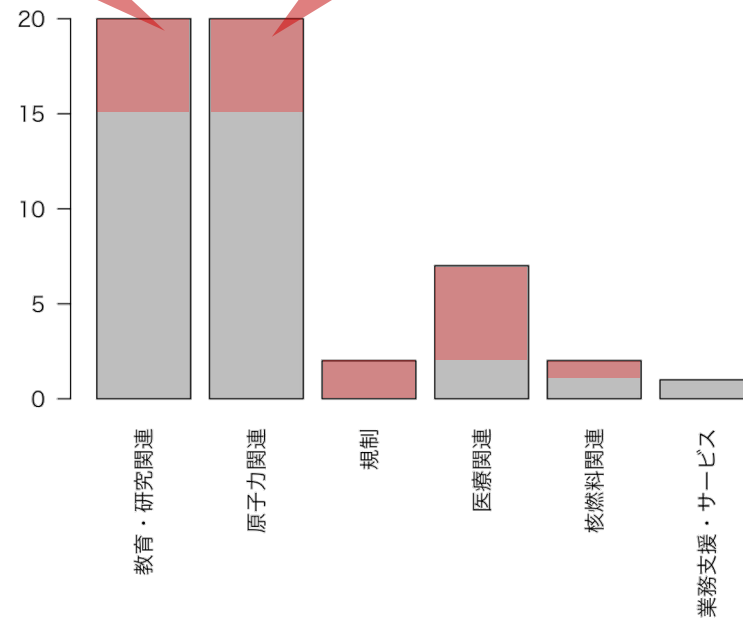
回答者の身分



回答者の所属機関

医療関連との重複4,
原子力分野との重複1

教育・研究との重複1,
医療関連との重複1,
規制との重複2,
核燃料関連との重複1

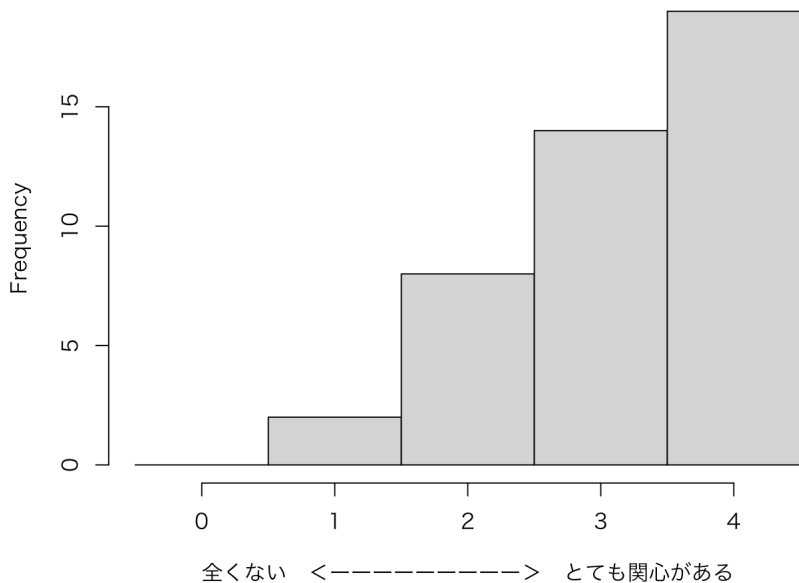


回答者の専門分野
(重複あり)

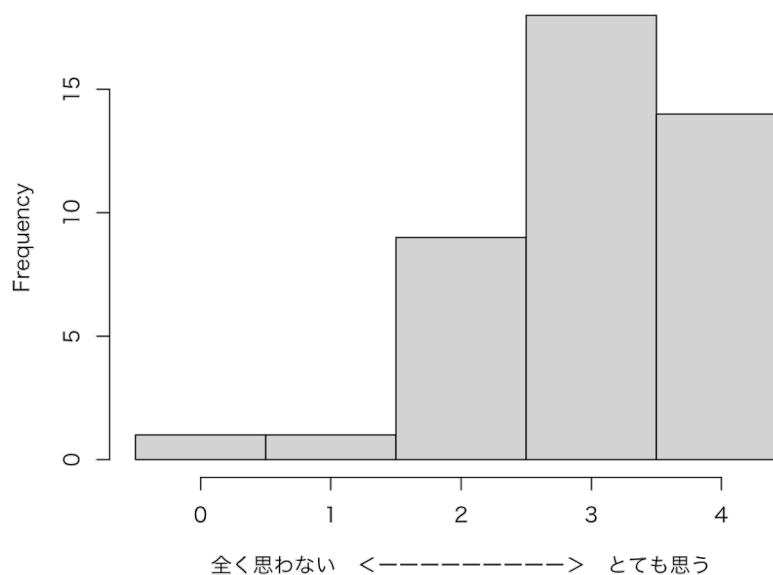
アンケート結果 2



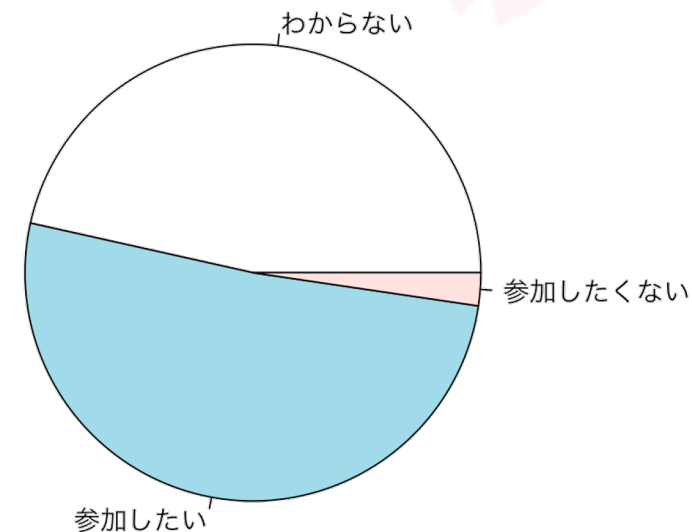
次期主勧告に関心はありますか？



関心のあるテーマにまつわる勉強会であれば参加したい？

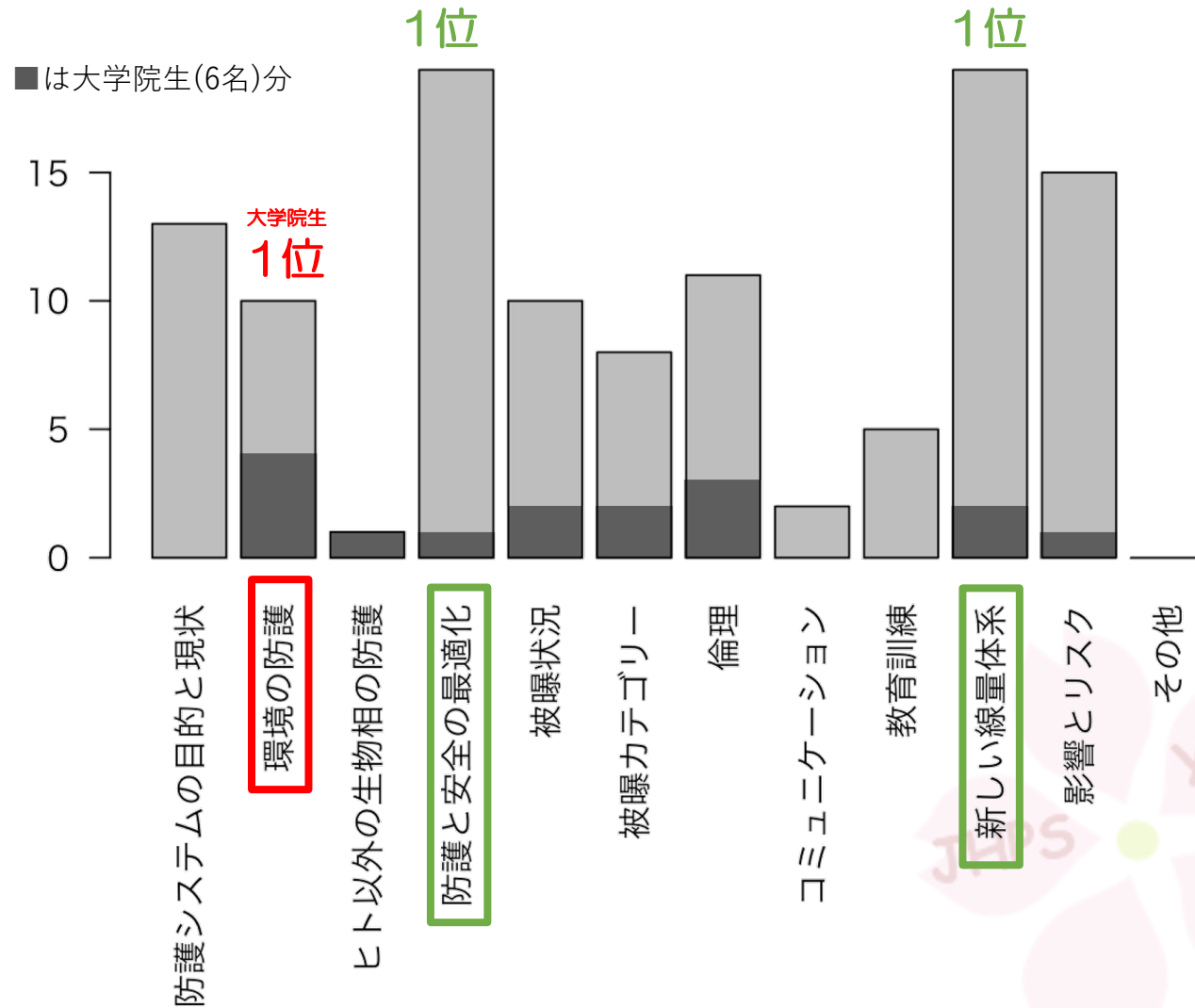


ICRP2023に参加したい？



- 関心の高さそうな人は30人以上はいそうで、勉強会を行えば来てくれそう！
→企画側にはやり甲斐ありで嬉しい♪
- ICRP2023にも半分以上が参加したいと回答。

アンケート結果 3

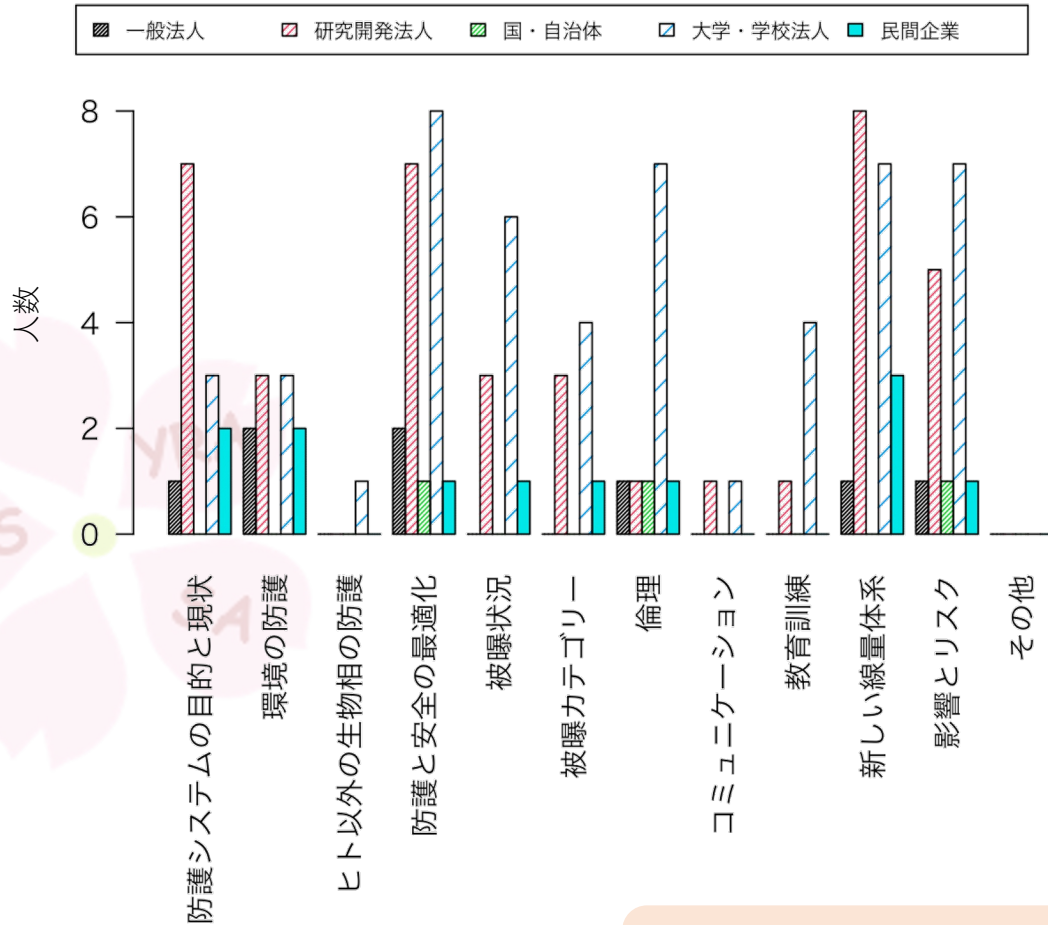


- 関心が高かったのは
 - 防護と安全の最適化
 - 新しい線量体系
- 大学院生のみ絞った場合には
 - 環境の防護
- 社会人と学生とで興味の方向性が違う
 - ただし、学生は6名で少ない。

アンケート結果 4

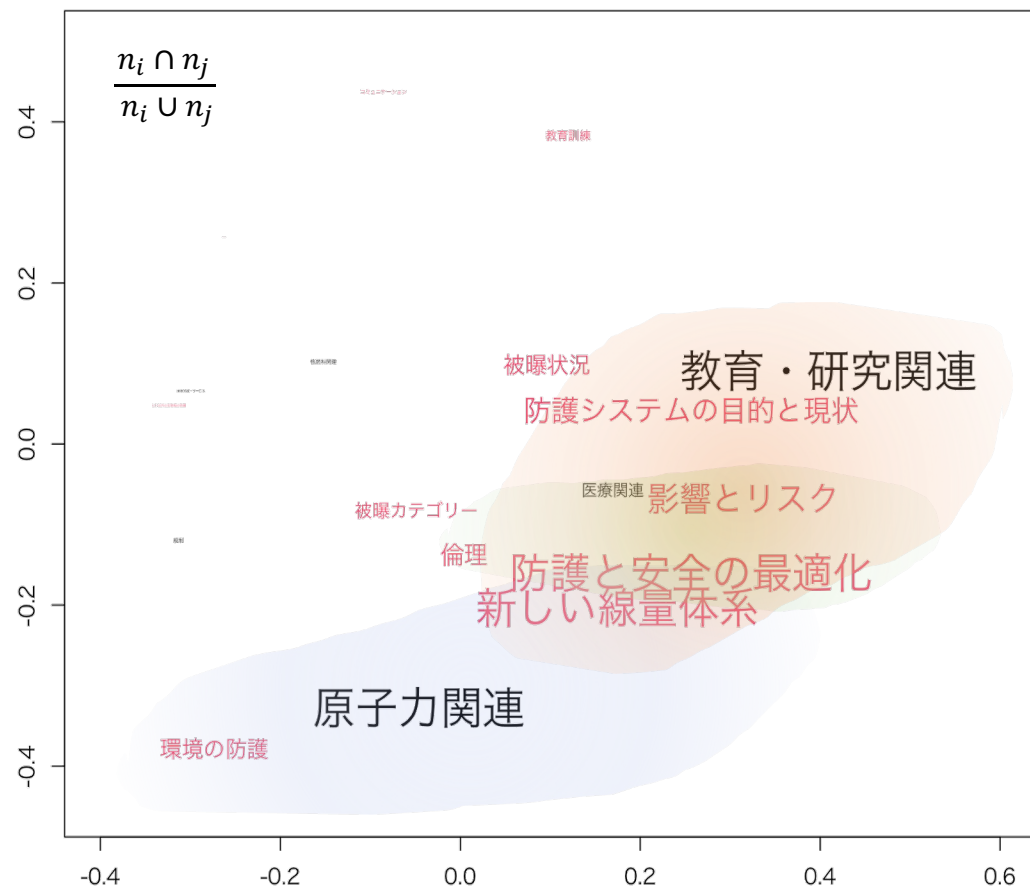
所属機関別に見ると

- **一般社団法人**(3名)
 - 環境の防護、防護の安全と最適化
- **研究開発法人**
 - 新しい線量体系、防護の安全と最適化、防護システムの目的と現状
- **国、自治体** (ただし1名)
 - 防護の安全と最適化、倫理、影響とリスク
- **大学・学校法人**
 - 新しい線量体系、防護と安全の最適化、防護システムの目的と現状、倫理、影響とリスク
※大学院生からの人気の分布と違う？
- **民間企業**(4名)
 - 新しい線量体系



今回の主題とは関係ないが、大学内での若手研究者・教員と学生の所属分野が違いそう…。
出会わないとお誘いもしづらい…。若手が所属する多くの分野で学生が取れていない可能性あり??

アンケート結果 5



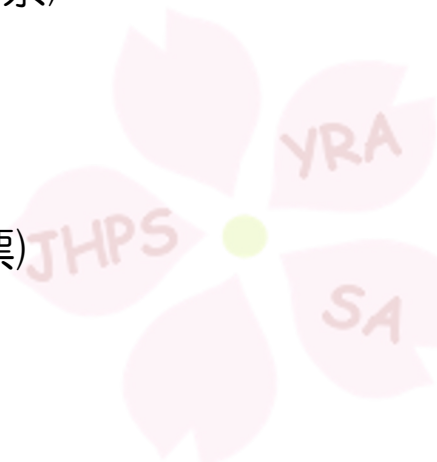
2つの選択肢の距離は、同一人が選んでいるほど近い

- ジャカード距離
- 多次元を2次元に射影しているので厳密には不正確
- 文字の大きさは選択した人の数を反映

- 原子力関連分野
 - 防護と安全の最適化 (8票)
 - 新しい線量体系 (8票)
 - 環境の防護 (8票)
 - 教育・研究関連
 - 防護と安全の最適化 (9票)
 - 新しい線量体系 (9票)
 - 影響とリスク (8票)
 - 医療関連分野
 - 防護と安全の最適化 (4票)
 - 影響とリスク (4票)
 - 新しい線量体系 (3票)
 - 倫理 (3票)
- } 同立1位

※票を数える際には重複あり

→ 今後の勉強会などの参考にしたい



と、いうわけで、本日は **学生・原子力関連分野 人気1位!** のテーマ

「環境に対する放射線防護」

に焦点を当てた勉強会をお楽しみください。

川口先生、どうぞよろしくお願いいたします。



「環境に対する放射線防護」の現状

川口 勇生（量子科学技術研究開発機構）